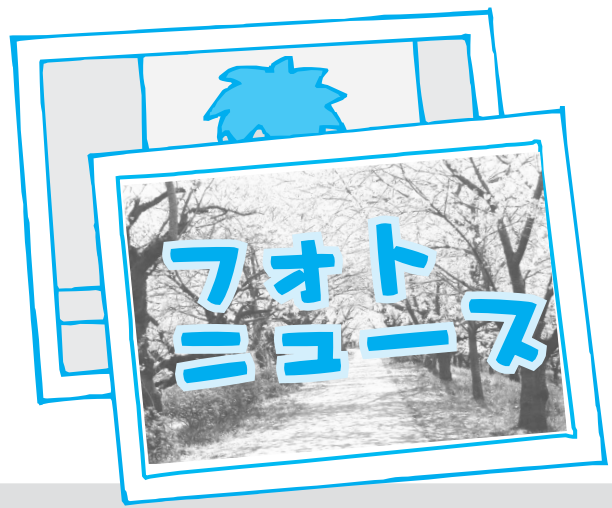




市内最高齢の増田ろくさんに記念品

9月12日(金)、敬老の日に先駆けて、市内最高齢の増田ろくさん(107歳)に、幸手市長から記念品が贈られました。「しっかり食べないと動けない。」というろくさんは、食欲旺盛で、食事の仕度は今でもご自分でされているそうです。

これからもお元気でもっともっと長生きしてくださいね。

食のバランス！大作戦Ⅱ

9月8日(月)ウェルス幸手調理室で、「食の改善」をテーマに調理実習が行われました。この日のメニューは、ツナのハンバーグとチンゲン菜のさっと炒め。参加者は、講師の指導のもと、手際よく調理をしていました。持ち寄ったご飯の量と味噌汁の塩分の測定をし、バランスのとれた食事が完成しました。



幸手市教育特別講演会

9月2日(火)北公民館で、幸手市立幼稚園、小中学校教員、PTA会員、小学校囲碁指導者の約400人を対象に東北大学加齢医学研究所川島隆太教授による「脳を育む」をテーマにした特別講演会が開催されました。

脳機能のトレーニングが、教育や認知機能を向上させるメカニズムを、笑いを交えてわかりやすくお話しいただきました。

若草俳句会

「片陰・線香花火・蚊」

片陰や

動かぬ犬の長き舌

小林弘和・東五

永平寺

蚊の声一切経の中

高花春子・南三

蚊の声に

翻弄されし寝入りばな

鴨田とし子・中四

宿題を

残して線香花火の子

大熊三郎・北三

片陰に

拾い道する車椅子

小森谷久子・中四

さって川柳会

神ほとけ

拝む姿に孫がまね

服部けい・中四

団地祭

親族知人輪になって

大宅トミ子・栄二





教員の資質向上をめざして

幸手市の小中学校には採用されて3年未満のフレッシュな教員が27名勤務しています。

市教育委員会では、国や県と共に、教職経験年数に応じた年次研修を計画的に進めていますが、今回はそのなかでも、採用後3年未満の教員を対象にした研修についてご紹介します。

今年4月に採用された新任教員は、緑化体験研修として、7月に高須賀池公園の除草作業を行いました。暑い中の作業でしたが、公園の環境整備に汗を流していました。

2年目となる教員には、8月に市内史跡文化財巡りを実施しました。地域の歴史や文化に触れ、授業に生かしたいという感想が聞かれました。

そして、3年間で最も重要な研修が授業研究です。教育委員会の指導主事が直接授業を参観し、学習指導方法などについて助言をします。

このような研修を通して、日々学び、指導力を高め、信頼される教員を目指して努力をしています。



▲信頼される教員を目指し、日々努力しています!!



未成年者喫煙防止キャンペーン

9月10日(水)幸手駅前で幸手たばこ商業協同組合のみなさんによる未成年者喫煙防止キャンペーンが実施されました。キャンペーンには幸手商業高校の生徒のみなさんも参加し、未成年者の喫煙防止を呼びかけました。



宝くじ助成事業で祭用品を購入

中川崎自治会では、(財)自治総合センターが実施している平成20年度宝くじ助成を受けて、太鼓などの祭用品を購入しました。これにより会の活動もますます盛んになり、貴重な伝統行事の発展と地域コミュニティの推進が図られます。

オリンピックク

嬉し女の肩車

中村文造・千塚

阿波踊り

阿呆になって夜の街

服部光一・中四

燎原短歌会

うすれゆく

水害恐怖をかたりある

老いたる人の

確かな記憶

尾上喜子・栄六

かるがると

三人のりの若き母

携帯片手に

おいこしてゆく

中村孝子・南三

木洩れ日に

ヒマラヤケシの青冴えて

すず風わたる

上三依の里

大熊昭子・東五

高騰の

「食」にかかわる生業を

三割九分の

自給率襲う

前田幸子・南一

高野山の

老杉のみち冷えびえと

夏のまひる間

身のひさしまる

金井啓子・緑台一